

募集案内

Recruiting Information



ICT：情報通信技術

Information(情報)
Communication(通信)
Technology(技術)



ICT/ブドーザー

重機オペレータ集まれ。
君を求む。(株)細村建設

〒355-0061 埼玉県東松山市葛袋1342-3

”技術”と”人”
を繋ぐICTの
細村建設



重機もリモコン操縦の時代

【企業プロフィール】

会社名	カブシキガイシャ ホソムラ ケンセツ 株式会社 細村建設	代表者	ダイヒョウトリシマリヤク ササキ タツヤ 代表取締役 佐々木 達也
所在地	サイタマケン ヒガシマツヤマシ クズブクロ 埼玉県東松山市葛袋1342-3	タカサカエキトホ20フン 高坂駅徒歩20分	
設立年月	昭和43年3月	URL	http://www.hosomura.co.jp
年商	18億円	従業員	55人（子会社含む67人）
業種	建設業/土木(堤防工事・造成工事・調整池工事等、土木工事全般)		
採用担当	カンリブ タカミズ 管理部 高水 TEL0493-35-0211	資本金	2,000万円
親会社	株式会社 東リース	子会社	ピーマツトサービス株式会社

【求人要項】

職種	①重機オペレーター：建設機械(0.7tバックホウ(左下の写真))の操作・運転等
	※最新のICT施工を実践中。3D画像、衛星からの位置情報、iPad、ドローン、クラウド等の先端技術を活用して重機を操作する時代です。
	バックホウ、ブルドーザの運転に興味のある方歓迎。
経験、資格等	①重機オペレーター：車輛系建設機械運転技能講習修了証(免許要,入社後取得可)
	普通自動車運転免許(AT限定不可、入社前の取得が望ましい)
給与手当	高卒者初任給：190,000円～（自宅から通勤不可の場合は住宅手当支給）
	①重機オペレーター：245,000円～（直行直帰手当等55,000円含む）
	※(基本給+職務給+無事故手当+時間外手当+交通費他)（住宅手当3万円、駐車場無料）
雇用形態	正社員(定年60歳とし、再雇用制度あり)
加入保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
休日・休暇	年間カレンダーによる。年間休日120日（日曜、祝日、土曜(数日出勤有)、夏季、年末年始、有休、慶弔）



右のYouTube、インスタグラムで、細村建設のPR動画掲載。
「就職者目線で企業を取材/カンパニー報道局」放映中



100年先の未来に繋げる創造力

ご挨拶

日頃より、株式会社細村建設、並びに東グループ各社をご愛好いただきまして誠にありがとうございます。

弊社は昭和41年に創業以来、堤防工事をはじめとした防災工事や地域経済の産業基盤の造成工事など地域に貢献してきました。これからも「国土強靱化」による安全・安心な生活づくりに”100年先の未来に繋げる想像力”で持続可能な社会づくりに貢献していきます。

「i-Construction」のICT土工をはじめ、常に最新の技術に関心を持ち、「働き方改革」による職場改善と「生産性向上」によりお客様の満足を創造しつつ、社員一人一人が細村建設の社員であることに誇りがもてる会社を目指します。



株式会社細村建設

代表取締役 佐々木 達也

学生の皆様へ

地球温暖化の影響は台風が大型化し、河川の氾濫、土砂崩れ等、目を見張るものがあります。

地震はどうか？想像しただけでも恐ろしくなります。復興は誰がするのか、準備をしなくていいのか、とても心配になります。衣食住とは生活をしていく基盤です。

将来性のある仕事とは人間が生きて行く上で必要とされている職業です。建設業は紛れもない社会にとってなくてはならない仕事です。誇りをもって、建設業の未来を築こうではありませんか。



2019年台風19号の豪雨
被害の状況/東松山市



福利厚生

- ・ 社会保険（健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険）
- ・ 退職制度（中退共・建退共）
- ・ レクリエーションパーティー（夏季・年末）
- ・ 福利厚生サービス（ベネフィット・ワン）



部活動

- ・ 軟式野球部（東リース合同チーム）
入間市の企業チームとして登録
- ・ ゴルフコンペ



所有重機

- ・ リモコン付き
ICTバックホウ 1台
- ・ ICTバックホウ 5台
- ・ バックホウ 18台
- ・ ICTブルドーザー 2台
- ・ ブルドーザー 2台
- ・ ダンプトラック 22台
- 計 50台



募集：重機オペレーター

利根川の現場です
重機を操縦して土を搬出中

ドローンによる3D測量

ICT/バックホウ

ICT/ブルドーザー

細村建設は、国、県、市町村が発注する河川工事を主に施工している会社です。機械土工による工事であり、建設機械の大型のバックホウ、ブルドーザーを操縦して、堤防を作ったり、大きく土を動かすのが仕事です。建設機械のオペレーター(大型重機の操縦のプロ)を募集しています。

- ・現場は、荒川水系・入間川水系・利根川水系です、埼玉県内になります。
- ・会社から社用車を貸与しますので、自宅から直接現場へ、仕事が終わったら直接帰宅。直行直帰でガソリン・保険・維持費等は会社で負担。
- ・現場は朝8時から17時まで、昼休み1時間です。夕食はゆっくり自宅で。
- ・バックホウ、ブルドーザーには、冷暖房設備が完備されており、快適です。
- ・親会社の東リースと共に「ICTアドバイザーの認定」を受けており、積極的にICT施工を推進中です。3Dスキャナー、ドローン、衛星データを活用して、3D設計データを作成しICT重機にデータを取り込みます。ICT施工により精度の高い技術で納得のいく施工が出来ます。新人にも優しいアシスト機能があり、近い将来、リモコンで操縦する時代が来ます。
- ・重機オペレーター23名、ダンプ運転手15名、監督・管理他17名で総勢55名。

募集：重機オペレーター

☆0.7tバックホウ、ブルドーザーを操作・運転して、土を大きく動かしたり、整地・運搬・法面整形を行うのが仕事です。

- ・バックホウ、ICT仕様の重機を操縦して頑張れる 君を求む。
- ・建設業界の未来に賭ける仲間 集まれ。
- ・技術と人を繋ぐICTの細村建設へ 入社歓迎。



重機オペレーター

柳島 哲司 31歳

2013卒 長野県立長野工業高校 土木工学科

- ・高校を卒業して道路工事の会社に就職しました。監督業務で夜勤が多く、身体が辛いので、大きな重機に乗りたく細村建設に転職しました。毎日、楽しく、重機に乗って仕事をしています。会社の資格制度を活用して、1級土木施工管理技士に合格することが出来ました。

重機オペレーター

大野 楓太 21歳

2023卒 埼玉県立いずみ高校 環境建設科

- ・高校を卒業して、細村建設の土木部に配属となり、簡単な作業を任されてバックホウを操縦しています。楽しいです。仕事の空き時間にバックホウの練習場で先輩から操縦方法やテクニックの指導を受けています。上達したいです。



挑戦し続ける細村建設

細村建設の挑戦を紹介致します。

目 次

- ・ 重機もリモコンの時代に（リモコン付き**ICT**バックホウ導入）
- ・ チルトローテーターを導入
- ・ **ICT**アドバイザー認定書を受ける
- ・ 見える化評価制度の認定を受ける
- ・ 社員のスキルアップ
- ・ 建設キャリアアップシステムの登録
- ・ 埼玉県SDGsパートナーの登録
- ・ イクメンプロジェクトに登録
- ・ 健康経営実践事業所登録
- ・ 多様な働き方実践企業に登録と企業ガイドブック
- ・ **CAT CLUB**に細村建設が掲載



重機もリモコン操縦時代

最先端のリモコン付き**ICT**バックホウを導入。

重機(バックホウ)もリモコン操縦の時代に！

重機に乗らずに離れた安全な場所で、リモコン操縦で作業ができる。 災害時に活躍！



チルトローテーターを導入

チルトローテーターとは、バックホウに取り付けるアタッチメントで、バケットを傾けたり(チルト)、**360度回転**(ローテート)させることができる装置のことです。

従来の方では難しかった多方向での作業が容易になります。バケット交換も簡単に交換可能に、作業効率**UP**が期待される。



ICTアドバイザー認定書を受ける

ICT施工の普及促進を行う会社として、国土交通省関東地方整備局に認定されて活動しています。

細村建設・東リースは令和2年12月25日関東地方整備局より認定を受けました。



・ICT施工の取組

当社は、東リースとともに最新の機材を使用して、グループ内でのワンストップサービスで建設現場のICT施工を全面的にサポートしています。

- ・東リースと共に「ICTアドバイザー」としてICT施工の活用拡大を図る取組が評価されて、令和7年3月27日に**感謝状とゴールドバッジ**が授与されました。



国土交通大臣 専門工事企業の施工能力等の 見える化評価制度の認定

○評価制度の概要

建設業の担い手のため、国土交通省では「建設キャリアアップシステム」の本格運用を行う中で建設技能者の評価制度と連動して、施工能力に関する情報を「見える化」することで、人材育成などの取り組み、施工能力等が高い専門企業が、単なる価格競争のみではなく、元請企業や発注者から適切に評価されるような仕組みが構築されました。(国交省HPより抜粋)
当社の評価では、以下の内容を基準として高い評価をいただき認定されました。

① 基礎情報

建設業許可の有無、建設業の許可年数、資本金、完成工事高、団体加入

② 施工能力

建設キャリアアップカード保有者数、所属技能者に占めるレベル3以上の者の割合、所属技能者に占める29歳以下の者の割合及び所属技能者の平均勤続年数、機械保有台数

③ コンプライアンス

処分歴、社会保険加入状況、従業員のコンプライアンス確保の取組

○認定者に与えられるロゴマーク



○評価結果通知書(写)

令和3年から4年連続受賞

見える化評価項目	評価の段階
基礎情報	★★★★★
施工能力	★★★★★
コンプライアンス	★★★★★

☆の評価については、見える化項目ごとに、評価内容の合計の平均点で評価され、当社ではすべて75点以上の最高位の「☆☆☆☆評価」を得ています。現在、すべての項目で最高位の評価を受けているのは、当社を含めて日本全国で数社だけ、今後も引き続き高評価を得られるように努力を継続していきます。
※日本機械土工機械協会のホームページを参照ください。



〒355-0061埼玉県東松山市葛袋1342-3
TEL0493-35-0211 FAX0493-35-2453
E-mail: info@hosomura.co.jp
URL: http://www.hosomura.co.jp

社員のスキルアップ

- ・技術者のスキルアップを目的とし、資格取得制度を活用して、個人の能力を向上させることを目指しています。（受験費用、テキスト代、交通費他全額会社負担です。）
- CPDS（生涯学習制度）に登録し、社員の知識、技術の向上を目指し、継続教育に取り組んでいます。

有資格者内訳

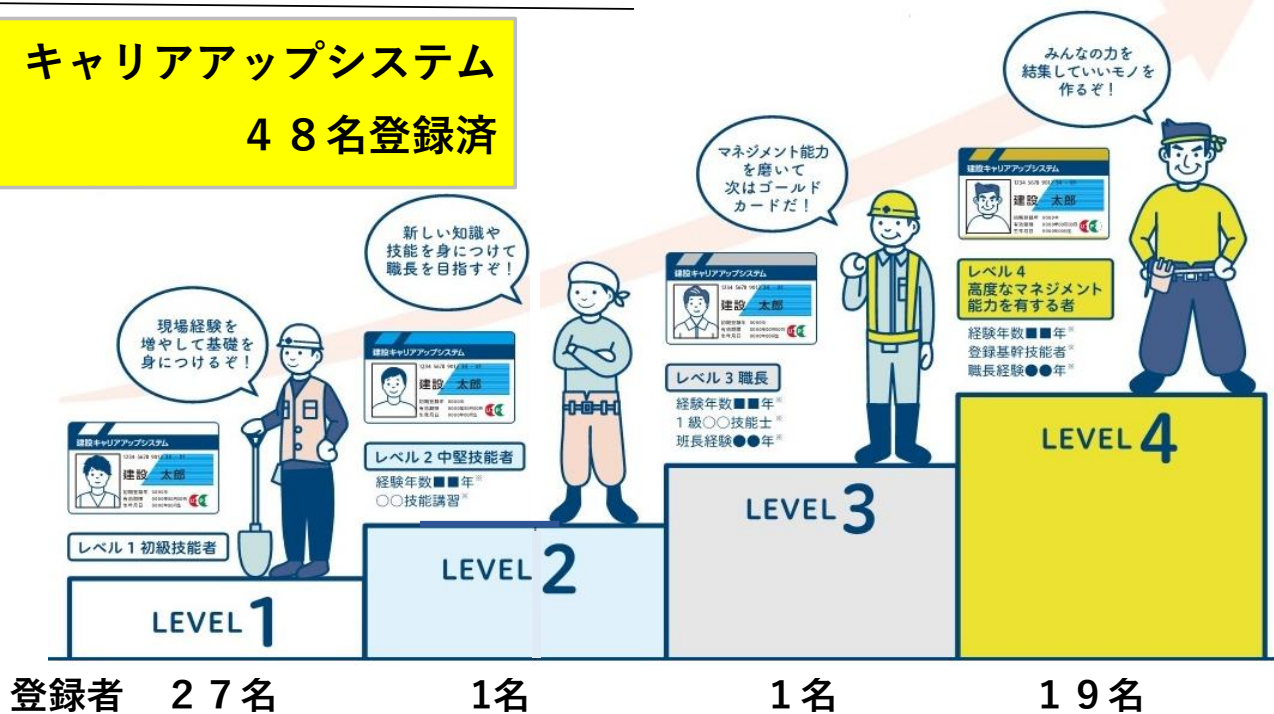
1級土木施工管理技士	7名
2級土木施工管理技士	5名
1級建設機械施工管理技士	2名
2級建設機械施工管理技士	10名
登録機械土工基幹技能者	15名



社内勉強会の様子

CCUS 建設キャリアアップシステム

キャリアアップシステム 48名登録済



統一したルールに基づいて技能者の職務履歴や保有資格などをシステムに蓄積し、技能者の処遇改善や技能の向上を図る制度です。

- ・レベル4/(ゴールド) 高度なマネジメント能力を有する者として19名登録されており、埼玉県でもトップクラスです。



埼玉県SDGsパートナーの登録

- ・「埼玉県SDGsパートナー」に(株)細村建設は登録され、活動を開始しています。



重点的取組

環境	・ エネルギー使用量抑制 (低燃費重機へ入替)
社会	・ 地域貢献活動 (社員参加型清掃活動・ エコキャップ運動への参加)
経済	・ 働き方改革の推進 (定年後の再雇用率)



イクメンプロジェクトに登録

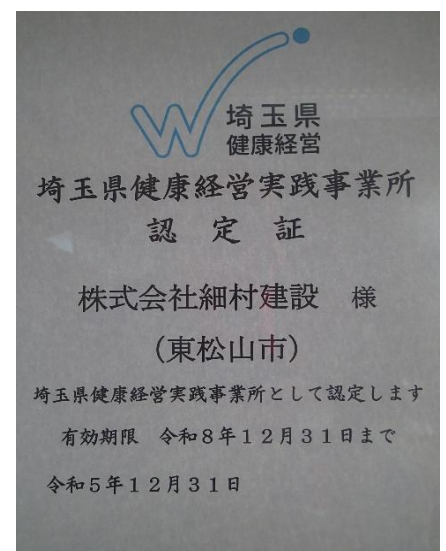
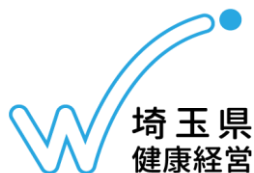


厚生労働省の「イクメンプロジェクト」に登録して、2023年1月に、従業員の男性が育児休業を取得しています。会社の玄関にイクメン企業を掲示し宣言しています。



健康経営実践事業所登録

埼玉県から「健康経営実践事業所」として認定されています。社員の健康を大切に、安心して働ける環境づくりを進めています。
初めての社会人でもムリなく働ける職場です。



多様な働き方改革実践企業に登録



細村建設は、埼玉県の多様な働き方実践企業の主旨に賛同して、多様な働き方実践企業に登録しました。残業時間削減等の働き方改革を推進しています。埼玉県の高校生向けに多様な働き方実践企業ガイドブックが配布されています。
次のページに参考に掲載



製造業

建設業

サービス業

卸売業・小売業

運輸業・郵便業

医療・福祉

その他

ホソムラケンセツ
株式会社 **細村建設**

技術と人をつなぐ ICT の細村建設



大型重機の操縦は気持ちよいですよ。

土地を整地する現場で大型重機(バックホウ・ブルドーザ)を操縦して、土をうごかすことが仕事です。最初は小型の重機で練習し、教習所で免許を取得(費用は会社負担)します。現場で先輩からサポートを受けながら仕事を覚えていただきます。ICT バックホウは新人にやさしいサポート機能もあるので操縦も安心。

👍 **ここが自慢です!**

当社は ICT 土工の技術を業界の人たちに教育や普及する、国土省の ICT アドバイザーになっています。社内業務のデジタル化で業務を効率化をし、雑誌や新聞に取り上げられている建設 DX の最先端企業です。

👤 **こんな人が向いています**

- ・建設機械が好きな人
- ・勉強よりも、体を動かすことが好きな人
- ・機械の操作、ipad の操作、ゲームの好きな人

企業データ

本社所在地 〒355-0061 埼玉県東松山市葛袋1342-3
 主な勤務地 東松山市
 最寄り駅 高坂駅(駅から徒歩20分)
 連絡先 0493-35-0211
 事業内容 土木業
 H P <http://www.hosomura.co.jp>



募集業種 **重機オペレーター**

ある日のスケジュール

- 🕒 7:40 自宅を出発
直接現場へ向かう
- 🕒 8:00 現場到着
現場ミーティング
今日のスケジュール
安全ミーティング
重機に乗って掘削作業
- 🕒 12:00 昼休み
- 🕒 13:00 午後の作業
作業ミーティング
重機に乗って掘削作業
- 🕒 16:30 終了・夕礼
- 🕒 17:00 退勤
直接自宅へ

😊 **先輩からの一言**

大型重機を操作する仕事は、土砂掘削して大型ダンプに積みこむ豪快さや、堤防の法面を整形する繊細さが求められます。大地を相手に、形を作る仕事なのでできあがったときは鼻息ものです。

◇ **企業からのひとこと**

当社は働き改革を取り入れ、会社に出勤しないで現場への直行直帰です。自分の都合に合わせて休みを取りやすい制度も用務されていて、プライベート時間を充実できる会社です。



お客様

見聞録

File 21

株式会社細村建設



埼玉県 東松山市

過去を打ち破り、 未来へ成長する建設会社をつくる。

少子高齢化が進む日本において、人手不足はあらゆる業界に共通の問題です。その解決策として、デジタル技術を活用し、業務効率化や働き方改革を図るDX(デジタルトランスフォーメーション)が注目を集めています。建設業界は他の業種に比べてその対応に立ち遅れている状況です。そうした中、i-ConstructionとDX化にいち早く注力し、変革をリードしているのが細村建設様。持続的な成長を目指して、古い殻を破るために強力なリーダーシップを発揮されている佐々木達也社長にお話を伺いました。



写真右上:「できるはずだよ」という魔法の言葉で社員の意識を変え、さまざまな改革をけん引されている佐々木社長。
 写真右下: i-Constructionを共に推進する株式会社東リースの黒米清社長(右)とICTアドバイザー認定書を手に。
 写真下: 「埼玉県SDGsパートナー」に登録し、資源のリサイクルなどにも全社を挙げて取り組まれています。



株式会社細村建設

代表者：佐々木 達也
 本社所在地：埼玉県東松山市葛袋1342番地3
 設立：1968年
 従業員数：49名
 事業内容：土木工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業
 URL：http://www.hosomura.co.jp

i-ConstructionとDX化を推進し、現場と業務をアップデート。

細村建設様は埼玉県東松山市に本社を構え、1968年の設立以来、河川の築堤、調節池、大型の造成工事など公共工事の下請を中心に事業を展開して地域の安全と経済成長を支えてきました。2017年には建設業界を広範囲にわたりサポートしている東グループの傘下に加わり、同グループが新事業として推進するi-Constructionワンストップソリューションの施工プロセスを担っています。

東グループの中核企業である株式会社東リースは黒米清社長が率いる埼玉県屈指の建設機械・器具のレンタル会社。半世紀以上にわたる歴史を持ち、関東を中心に約50カ所の営業拠点を展開しています。

「親会社の東リースがBD2F、BS3(ブルドーザ)の時代からキャタピラーと取引関係を結んでいたこともあって、当社もグループ参入後のICT施工導入を機に所有機をCat®マシンにリプレースし

ています。Catマシンは電子制御が進んでおり、デジタルデータで機械をコントロールするICT施工とは相性が良いということも選択の決め手になりました。当初はデータの作成・入力などを一から学ぶ大変さがありましたが、秩父にあるD-Tech CenterでのICT研修会や日本キャタピラー川越営業所の協力を通じて、スキルの底上げを図りました。おかげさまで元請会社主催のICT見学会で当社の社員が3D施工の実演を披露したり、2020年にはICTアドバイザーの認定を受け、国土交通省のICT講習会で講師を務めさせていただくほどの信頼を得ています」

そう語る佐々木社長は、長年、金融機関勤務で培った知識と経験を強みに、原価管理や現場の採算性を数字で「見える化」する経営手法を取り入れられています。

「タブレット端末によるデジタル日報管理システムを構築し、内勤のICT女性ディレクターに情報を一括集計してもらうことで、人員や機械の無駄をスピーディーに洗い出し、現場業務や収益性の改善を図っています。数字で追いかけていけば必ず原因に辿りつく、それは銀行で学んだことです。業界育才でないからこそ、



にしあすま
西遊馬地区河川防災ステーションの整備工事を担う
Cat 320とD3K。



過去のやり方に縛られずに改革の手を打ち、会社をアップデートしていきける強みがあると思っています」

細村建設様が現場業務のデジタル化やICT建機の積極導入を通じて推進したDXは、国土交通省からも高い評価を受け「施工能力等見える化評価(機械土工部門)」で全項目最高の星4つを付与されました。

「中長期的な視野に立ち、先んじて設備投資を行う、それが功を奏して施工能力は確実に向上しています。当社に仕事を出すことで国や県から高い工事成績評定を得られるサイクルが生まれれば、元請と下請双方にとってWin-Winになります」

「国土強靱化」の一翼を担い、持続可能な社会に貢献。

細村建設様は現在、河川の治水対策や防災ステーション整備といった公共工事を下請で担われています。本社でのインタビュー後、佐々木社長のご案内で訪れた荒川調節池の施工現場ではCat 320が池内水路の掘削作業を行っていました。この工事は国土交通省 関東地方整備局が主導する最新の技術を取り入れた大規模な調節池整備プロジェクトで、細村建設様は第二調節池から第三調節池まで総延長約2kmの施工を担当します。

「今年2月末から着工し、現在基礎地盤の造成を進めているところです。6月から始まる本格的な工事ではキャピラーのICTマシンを10台程投入して作業を行う予定です」

そう説明してくださったのは土木部長の水谷^{みずた}様。2016年に国土交通省がi-Constructionを打ち出した初期から実績を積み、細村建設様のICT施工推進をけん引されているリーダーです。

「ICTの導入によって現場は飛躍的に省力化が進みました。事前に機械のセッティングといった準備は必要ですが、工事に入っしまえば丁張や測量をいちいち行うことなく、場数の少ないオペレータでもベテランに負けない精度と効率で作業が行えます。これからもICTと建設機械の進化によって私たちの仕事は加速度的に変わっていくでしょうね」

Cat 320のオペレータを務められていた小倉直樹様は15年の現場キャリアを持ち、ICT講習会でもデモンストレーションを担当するほどの腕前。これまで他社機を含めてさまざまな機械を運転されてきたそうですが「キャピラーのマシンは電子制御で機械が思った通りに動いてくれるので長時間乗っていてもストレ



ICT講習会でデモオペレータも務められる小倉直樹様。ヘルメットと作業着の袖にi-Constructionの刺繍が入っています。

スや疲労が少ない」と語られます。

「マシントラブルが非常に少ない点も魅力ですね。特に土砂の搬出現場などでは油圧ショベルが止まると全工程が渋滞してしまいますから、『壊れにくさ』は私たちにとって重要です。Catマシンはデザインもいいですし、世界ナンバー1メーカーの最新鋭機を使っているということで若いオペレータたちのモチベーションも上がりますよね」

佐々木社長と共に現場取材に同行してくださった社長室長の黒岡茂雄様は「社長の良いところはワンマンでなく、現場の人たちともよく話し、声を聞きながら、組織を上手に動かして会社を改革していけるところ」だとおっしゃいます。

「『できるはずだよ』というのが社長の口癖です。頭ごなしに命じめるのではなく、社員の背中を押して自発的な行動を促す。それが現場の作業員から事務所のスタッフまで一人ひとりの意識向上につながって、新しい挑戦と成果を重ねていく企業風土を生んでいると感じます」

「危険」「汚い」「きつい」を払拭し、新しい3Kを実現する。

佐々木社長は、細村建設様を「持続性、継続性のある会社にしていくことが最も大きな目標。」だと語られます。

「そのためには人材の確保が急務です。若い人たちにも魅力を感じてもらえる会社に生まれ変わらなければなりません。建設業界の3K(危険・汚い・きつい)を過去のものにするために、ICTの導入に注力して現場改革を加速する一方で、新3Kを創出する仕組



荒川調節池の現場で稼働するCat 320。



取材にご協力いただいた社員の皆様。左から、水谷土木部長、オペレータの小倉様、黒岡社長室長、一人挟んで佐々木社長、水村土木本部長、根岸課長。

*左から4人目が日本キャタピラー 川越営業所の加治マシセルス。

みづくりを行っています」

佐々木社長が指す新3Kとは「休暇」「給与」「希望」。休暇については、社員の処遇改善や工事現場の週休2日に合わせ、4週6休を基本とする勤務スタイルを実施。埼玉県男性育児休業等推進宣言企業にも登録し、イクメン(男性育休)を推進しています。また、給与においても資格手当や社員表彰制度を拡充し、成果と能力を適切に評価する賃金体系を整えています。

「当社では原価や収益率をオープンにしてその理由や原因を社員にも共有し、当事者意識を醸成させるように努めています。一人ひとりが収支に対して目標と責任感を持ち、それを達成するために自ら工夫して改善を重ねる。でなければ人も組織も成長できません。私自身、銀行勤務時代からノルマを達成するために努力してきたので収益目標にうるさい方だと思いますが、その分成果に対しては昇給や決算賞与といった形でしっかり社員に還元するようにしています」

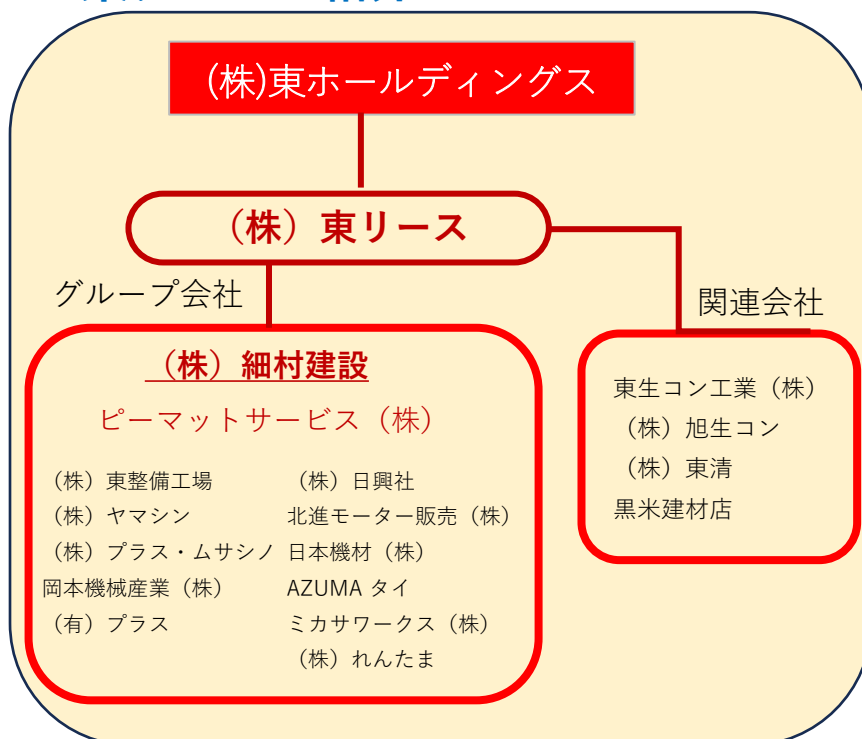
「休暇」と「給与」の見直しによる社員のワークライフバランス、モチベーションの向上に加え、佐々木社長が力を注がれているのが人材育成。キャリアアップを志す社員を全面サポートする資格取得制度を新設し、施工管理技士などの技術検定に必要な参考書、試験費用、交通費などの経費をすべて会社が負担、受験のための休暇は有休扱いにしています。

「制度を導入した当初は手を挙げる社員が少なかったため、会社側で受験者を指名していましたが、2年後ぐらいには合格者も増え、毎年倍のペースで受験希望者が増えるようになりました。今ではほぼ全社員が有資格者になり、細村建設には優秀でモチベーションの高い技術者が揃っているというアドバンテージがプラスされました」

細村建設様では新3Kへの取り組みを通じて、社員すべてが将来を見通し、希望が持てる職場づくりを進めると同時に、若手や女性の採用を一層強化すべく社員による人材紹介制度も実施しています。

「ライバルに負けない会社にしていくために、先駆者として何が必要なのかを考え、実行に移していきます。i-Constructionへの取り組みも、DXによる働き方改革も、各種制度の見直しも、会社の価値と信頼を高める長期的な展望に立っての施策です。先行投資にはなりますが、東グループ一丸となって顧客拡大を目指していきます。キャタピラーにもこれまで以上の協力と支援をお願いします」

東グループ紹介



〒355-0061

埼玉県東松山市葛袋1342-3

TEL: 0493-35-0211

FAX: 0493-35-2453

URL: <http://www.hosomura.co.jp>